

焼付硬化性鋼板の耐デント性改善効果と硬化挙動*

川崎製鉄技報
19 (1987) 2, 119-123

Age-hardening Behavior and Dent Resistance of a Bake-hardenable and Extra Deep-drawable Steel Sheet



要旨

超深絞り性を有する焼付硬化性鋼板のプレス後の時効硬化挙動を、モデルプレス品における耐デント性の測定および引張試験にお

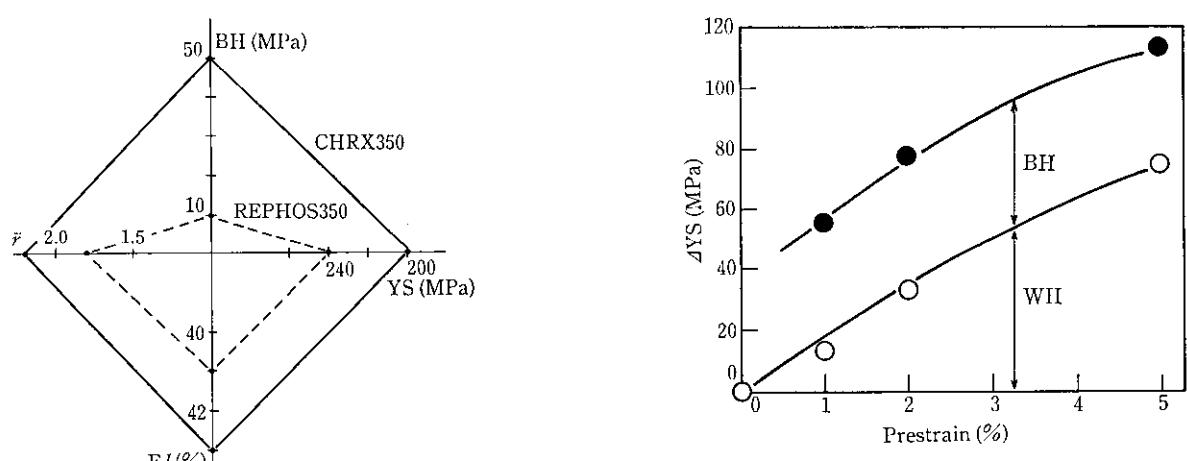
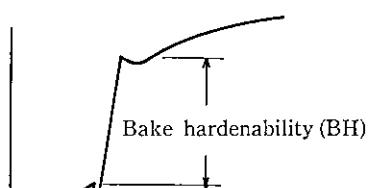


Fig. 1 Features of mechanical properties of CHRX and rephosphorized high strength steel (TS grade: 350 MPa)

hardening after aging at 170°C for 20 min (Prestrain and tensile test were performed in the cross-rolling direction.)



の関係をそれぞれ Fig. 2 および 3 に示す。昭和 61 年に制定された自動車用冷延高張力鋼板の JIS 規格 G3135 の付属書によれば予歪量 2% で BH 量を定義する。

連続焼純を用いた BH 鋼板の製造には、通常つぎの二つの方法が差別される。ひとつは、低炭 A1 キルド鋼を過時効処理することに

2.2 BH 鋼板の耐デント性

硬化により鋼板の降伏応力が増すためである。また耐デント性は時効処理により顕著に改善された。Fig. 3 に示した引張試験で確認さ

